

2025 年度 ニチキッズながの石渡保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 1 日（木）～1 月 31 日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め寄り添うこと、子どもの気持ちをくみ取ることの大切さを園内研修にて全職員が学び、保育園作りをしていくように努めた。
子どもの発達援助	保護者様と情報の共有をすることで、一人ひとりの育ちに合わせた援助ができた。今後も年齢や月齢だけで判断するのではなく、今の育ちや「個」を大切に见守っていく。
保護者に対する支援	送迎時などに顔をあわせて話すことで、保護者様の思いや悩みに気づけるよう努めた。日々のコドモンでの連絡帳も、保育の手がかりとし職員全員が共通認識をした上で保育を行った。行事にも積極的に参加していただき、共に成長を喜び合うことができた。
保育を支える組織的基盤	職員誰もが意見を声にできるようミーティングや会議の雰囲気作りを重要視した。様々な遊びの知識やアイデアを共有することで、保育の学びにつながった。今後も個人の気付きや振り返りを大切にし、積極的な意見交換をすることで保育活動に活かしていく。
総評	
子どもにとって何が最善かを第一に考え、職員同士が学び伝えあうことが保育活動に生き、保育の質の向上へとつながることができた。保育者自身が活動を楽しむことで自然と子どもも笑顔になり、あたたかい雰囲気の中でのびのび遊び、安心して過ごす子どもたちの姿があり園全体が活気に満ちた 1 年であった。次年度に向けては、自然と触れ合う機会を多く設け、戸外活動の充実や五感を刺激する保育活動を子どもたちとともに探求し、保育の質の向上を目指していく。	